

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		アラビア語ⅠB（文法） A1102 Primary Arabic B			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 岡 真理		
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
前期に引き続き、アラブ世界の共通語である現代標準アラビア語（正則アラビア語：フスハー）の基礎文法を学びます。後期は、講読用テキストの精読を通して、前期に学んだ文法事項を逐次確認しながら、基礎的な語彙や表現を習得していきます。自分独りで辞書が引けるようになり、母音符号が振ってある基本的な文章が読めるようになることを目指します。また、パレスチナ問題など現代アラブ世界の諸相についても学びます。									
[到達目標]									
簡単な現代文の文章を、辞書を引いて読めるようになること、規則動詞に関しては、基本形だけでなく、派生形の動詞、動名詞、分詞等に関して、3語根を見極め、辞書が引けるようになることを目指します。									
[授業計画と内容]									
後期は、アラブの児童文学の短編を精読し、前期に学習した文法事項を確認すると同時に、実践的な読解力を養います。 シリアの作家、ザカリヤ・ターメルの短編作品を3本程度、読む予定です。 1本の作品に関し、2回～4回の授業を予定しています。 最後の2回ないし3回は、1年間の授業の総決算として、母音符号のついていない、現代アラビア語のニュース記事の講読に挑戦します。									
1年前は文字さえ知らなかった言語で、いま世界で起きている出来事を伝えるニュースが読めることに感動を覚えるでしょう。									
[履修要件]									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
[成績評価の方法・観点]									
授業への積極的参加度、課題への取り組み方、小テスト（随時）および期末テストで、総合的に判断します。 成績評価基準の詳細については授業中に指示します。									
[教科書]									
黒柳恒男、飯森嘉助『現代アラビア語入門』（大学書林）ISBN:978-4475018388 講読用のテキストは適宜、プリントを配布します。									
[参考書等]									
（参考書） 『The Hans Wehr Dictionary of Modern Written Arabic』									
[授業外学修（予習・復習）等]									
「復習」の大切さは言うまでもありませんが、とくにこの段階では、「予習」と「音読」がアラビア語学習を支える大きな柱となります。児童向けの文学作品と言っても、動詞の活用や文法構造は									
アラビア語ⅠB（文法）A1102(2)へ続く↓↓↓									

アラビア語ⅠB（文法） A1102(2)

複雑ですので、決して侮れません。事前に必ず、自分で辞書を引いて、持てる文法知識を総動員してテキストの解説に挑戦した上で授業に臨みましょう。この「能動的な」解説作業を自分でするかしないかによって、結果は大きく違ってきます。予習せずに授業で解説方法を「受動的に」聞いて理解しただけでは、決して「自力で読める」ようにも、一人で辞書を引けるようにもなりません。さらに、復習の際は、テキストを何度も何度も、スムーズに読めるようになるまで、声に出して音読しましょう。毎日、5分でもかまいません。音読することで、習った単語や表現が自然と身につきます。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]